

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
10	2007/12/11	78035	川澄化学工業株式会社	ヘパリン使用人工心肺用回路システム	ヘパリン	豚 小腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			
11	2007/12/20	78036	フォルテグロウメディカル株式会社	ヘパリン使用人工心肺用回路システム	ヘパリン	豚小腸粘膜	イタリア	組成・構造	無	無	無			
12	2008/1/11	78037	日本シャーウッド株式会社	ヘパリン使用中心静脈用カテーテル ウロキナーゼ使用胸部排液用チューブ ウロキナーゼ使用中心静脈用カテーテル ウロキナーゼ使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	製造工程	無	無	無			
13	2008/1/22	78038	エドワーズライフサイエンス株式会社	ウマ心膜パッチ	ウマ心膜	ウマ心膜	米国、カナダ	組成・構造	有	無	無	ウエストナイルウイルス	カナダ保健省 ウエストナイルウイルス国家サーベイランス報告 2007年11月4日-2007年11月10日(第45週)	第45週にウエストナイルウイルス(WNV)感染ヒト症例2例がカナダ保健省に報告された。2007年の累積数はヒトでは臨床症例2338例、無症候性感染症例28例が報告された。トリでは2007年5月以降に死亡した1985羽が検査され、内139羽がWNV陽性であった。家畜ではウマ109例が感染した。米国では今シーズン始まって以来、2007年11月13日までに3304例のヒトWNV症例が報告され、内93例が死亡例である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
14	2008/2/4	78039	泉工医科工業株式会社	人工心肺用血液回路膜型人工肺 人工心肺装置の付属品 ヘパリン使用人工心肺用除泡器	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国	製造工程	有	無	無	旋毛虫症	ProMED-mail20070717.2292	ポーランドからドイツに持ち込まれた旋毛虫症4例について報告する。1例の患者は著しい好酸球増多症、肝酵素上昇、筋酵素上昇を示し、入院後、再分極障害となり、心停止を呈した。4例の患者全員がこの3か月の間にポーランドに旅行歴があり、彼らは地域の食肉解体場において豚肉とソーセージを買って食べた。臨床上的診断は血清学的検査によって確定された。すべての患者は、酵素結合抗体免疫測定法(ELISA)とimmunoblotで旋毛虫に対して高い抗体価を示した。
												レンサ球菌感染	THE PIG SITE 2007年7月24日	中国Shenzhen出身の49歳男性が、ブタが感染源の細菌病であるブタ連鎖球菌症(Streptococcus Suis)と診断された。地元政府はその男がどのようにしてその病気に罹ったか明らかにしていないが、保健農業局が肉製品の検査を強化したことを強調した。男性の家族と同僚は、その病気の徴候を表さず、その伝染病はShenzhenのブタの間に見られなかったと政府は発表した。ブタ連鎖球菌症の初期徴候は発熱、頭痛、眩暈で、髄膜炎や関節炎を起こす。2005年にはこの病気のアウトブレイクにより南西部中国のSichuan省で、37人が死亡し、250人以上が感染した。
												レンサ球菌感染	PIG PROGRESS 2007年7月24日	北ベトナムで、ブタ連鎖球菌(Streptococcus suis)感染症が原因で2人が死亡した。Vietnam News Agencyは、Streptococcus suisが原因で病気になる、ハノイ病院に運ばれた患者は今年になってからこれまでに22人いると述べている。ベトナムの医師によると、病気のブタの肉を食べるか、病気のブタの近くで空気を吸入して感染し、急速な内出血と高熱を患うとのことである。
												レンサ球菌感染	THE PIG SITE 2007年7月25日	ベトナムで病気のブタから感染したブタ連鎖球菌(Streptococcus suis)症によって男性2名が死亡し、他の42名が発症したと、当局が発表した。ハノイの熱帯病研究所の副所長のNguyen Hong Haiによると、生の肉を取り扱うか、十分に加熱調理されなかった料理を食べる人に感染するとのことである。42名の感染者のうち、20名は南部、22名は北部の人である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												レンサ球菌 感染	ProMED- mail20070726.241 1	中国南部のShenzhen市出身の49才の男性が、致命的でブタが媒介の細菌性の病気であるブタ連鎖球菌症(Streptococcus suis)と診断されたと、地方当局が2007年7月25日に発表した。患者は治療中で、状態は安定している。患者の家族、同僚と同室者は病気の徴候を示しておらず、伝染病の発生はShenzhenのブタの間で見られなかったと、当局は発表した。Streptococcus suisの最初の徴候は熱、頭痛とめまいで、そして、それは髄膜炎と関節炎を引き起こすことがある。2005年にSichuan省では、この病気の発生で37人が死亡し、250人以上が感染した。
												レンサ球菌 感染	ProMED- mail20070721.234 5	ベトナム熱帯伝染病研究所は、2007年7月18日に、2007年初めからブタ連鎖球菌(Streptococcus suis)による重体患者21名を收容したと報告した。21名のうち2名は死亡し、他の2名はまだ危篤状態である。S. suisは、ブタが飼育される世界の多くの地域で見つかる細菌で、飼育ブタで最も一般的であるが、時折イノシシ、ウマ、イヌ、ネコ、トリで検出される。ヒトのS. suis感染症は、病気に感染したブタを屠殺する人々の間で主に起こる潜在的に致命的な人獣感染症であるが、感染したブタの調理された肉または臓器を食べることは危険ではなく、また、ヒト-ヒト感染は起きないとされている。
												レンサ球菌 感染	ProMED- mail20070726.240 3	42名が発症し、2名が死亡したベトナムのブタ病に対し、速やかな調査と細菌を制御するための緊急対策が必要であると、農業大臣が発言した。この病気が、国中に広がったブタ連鎖球菌(Streptococcus suis)に起因したと、ベトナム農業新聞が火曜日[2007年7月24日]に報じた。北部地方の22人が感染したあと、南部地方で20人が感染した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												旋毛虫症	ProMED-mail 20070713.2242	旋毛虫症の発生は、ドイツに接している北西部ポーランドの地域のZachodniopomorskie Voivodeship (West Pomerania)で拡大中で、2007年7月12日までに、201人が感染した。発生は、2007年6月9日にKamien Pomorskiで地元の公衆衛生部門に最初に通知され、4人が旋毛虫幼虫感染を示唆する、熱、関節痛、眼窩周囲と顔の浮腫、嘔吐などの臨床症状で入院した。60の血清検体中28検体が抗旋毛虫抗体陽性であった。肉製品を製造している一つの製造者が発生源と確認され、この肉処理工場は2007年6月15日に閉鎖された、そして、2007年の5月と6月にそこで生産されたすべての肉製品は店と倉庫から回収された。
												レンサ球菌 感染	THE PIG SITE 2007年7月27日	少なくとも更に4人のベトナム人が、今年この国で26人が感染した珍しいブタ病に罹ったと、ベトナム熱帯伝染病研究所が報告した。患者の大部分はブタ由来のブタ連鎖球菌(これまでに26人のうち2人が死亡している)に感染後9~10日目に重症で入院した。ほとんどの患者が生活のためにブタを屠殺したり、ブタ肉を加工、販売しているが、ブタの血液由来の食品(それはベトナムの田舎では全く一般的である)を食べることによって感染した患者もいた。さらに、ベトナムでは約30000頭のブタが青耳病(ブタ生殖呼吸症候群)に感染していると伝えられている。
												レンサ球菌 感染	ProMED-mail20070823.275 6	2007年8月12-14日にWisconsin州Madisonで開催されたヒトへ伝染する自然界の病気に関する国際会議で、ブタ連鎖球菌が、人畜共通病原体として過少報告されるか誤診されるかの調査結果が報告された。1968年にデンマークで最初のヒト感染症例が報告された後、東南アジアでは普通にみられ、英国、オランダ、ドイツ、クロアチア、ニュージーランドおよびギリシャで孤発性ヒト症例が報告されている。米国での最初のヒト症例は2006年に報告された。中国の2005年の発生では、200人以上が感染し、死亡率は約20%であった。豚と密接に接触するヒトの間で、現在認識されている以上の頻度でヒトに感染すると結論付けた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												レンサ球菌感染	ProMED-mail20070828.2824	ハノイのベトナム熱帯伝染病研究所は、ヒトにおけるブタ連鎖球菌 ( <i>Streptococcus suis</i> ) 感染を診断する能力を新しく開発した。ヒトにおける <i>S. suis</i> 感染症例数の増加が、PRRS(ブタ生殖呼吸症候群) の発生に関連するかまたは以前にはベトナム北部にはなかった良い検出システムに関連するかは不明である。同国南部のホーチミン市の病院ではヒトの <i>S. suis</i> ベトナム株を分離し、特徴を調べた結果、 <i>S. suis</i> は同国における成人の髄膜炎の主要な原因の一つであると思われた。
												日本脳炎	ProMED-mail 20070829.2839	インド保健省は、2007年8月16日までに、インドの9つの州で日本脳炎837例を確認し、185人が死亡したと報告した。日本脳炎は中枢神経系に影響を及ぼし、麻痺、昏睡のような重篤な合併症や最終的に死亡の原因となる。WHOによると、この病気の致死率は最高30パーセントで、生き残った人々も終身身体障害者になる可能性がある。蚊が日本脳炎の根本の原因であるが、ウマとブタがウイルスの保有宿主である。田舎の人々がブタの近くで生活していることも原因の一つであるが、ワクチンの不足が問題である。
												E型肝炎	ProMED-mail 2007年9月3日	E型肝炎ウイルス感染は妊婦で致命的となるおそれがあるが、最近までは中国、インド、ならびに発展途上国に限定されると考えられていた。今ではヨーロッパ人もHEVに感染していると2007年9月3日に第161回General Microbiology学会で報告された。HEV由来の遺伝物質は日本、米国およびオランダで販売されているブタの肝臓で検出されている。野生のイノシシ製品も同様の危険性を持っている。現在の診断の割合は欧州諸国における急性ウイルス性肝炎患者の13%に達するが、実際にはより高いと思われる。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												レプトスピラ症	ProMED-mail20071016.3383	保健環境省はレプトスピラ症100症例を確認したと発表した。レプトスピラ症は、スピロヘータLeptospiraに起因する人畜共通感染症で、それは、通常、断続的または継続的に病原体を排出する無症候性キャリア動物(例えば齧歯類、イヌ、ブタ、およびウシ)から、ヒトに感染する。レプトスピラ症はジャマイカの風土病で、秋の豪雨の洪水後に発生する。実際、レプトスピラ症は家畜(ブタ、ウシおよびヤギ)で血清学的に証明され、Leptospiraがジャマイカで土と水のサンプルから分離された。
												ブドウ球菌感染	PIG PROGRESS 2007年11月8日	調査の結果、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の感染源が養豚場である可能性が示された。この致死性細菌は、かつては病院内感染だけだと思われたが、米国では2005年に死亡例が19000人に達し、HIV/AIDSでの死亡例より約2000人多かった。2007年の新しい調査では、オンタリオの20の農場のうち45%で、ほぼ5人に1人の農民と4匹に1匹のブタでMRSAを確認した。ヨーロッパの研究では、日常的な養豚場での抗生物質の使用がMRSAの可能性を増やすことを示している。また米国の獣医はMRSAの保菌者である。
												ブドウ球菌感染	THE PIG SITE 2007年11月7日	Vet. Microbiolに発表されたKhannaらの研究は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)がカナダの養豚場および養豚家で流行していることを初めて明らかにした。オンタリオの20の農場のブタ285匹を調べた結果、45%の農場(9/20)で、4匹のブタに付きほぼ1匹(71/285)でMRSAを検出した。また養豚家5人に付き1人(5/25)がMRSAのキャリアであった。これは一般的な北米人より大いに高い比率である。オンタリオのブタおよび養豚家で検出されたMRSA株はカナダでのヒトMRSA感染に共通する株を含んでいた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(ET)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail 20071219.4079	米国の農場で病気にかかったブタから分離された遺伝的に類似したトリ/ブタウイルスリアソータントH2N3インフルエンザA型ウイルスを分離して、特徴づけた。これらのウイルスは実験で感染させたブタとマウスで病気を引き起こすことができた。そのうえ、ブタH2N3ウイルスは、伝染性で、ブタとフェレットで高い感染性を示した。これらの知見は、H2N3ウイルスが哺乳類の宿主へ適合を経験していること、そして、彼らの蔓延が非常に嚴重に監視されなければならないことを示唆する。
												鳥インフルエンザ	PIG PROGRESS 2007年12月20日	ブタインフルエンザの新しい種H2N3が同定された。それは1957年の世界的流行時にヒトに感染したH2インフルエンザウイルスのグループに属し、トリとブタのインフルエンザウイルス遺伝子から構成されている。H2N3インフルエンザウイルスが哺乳類で検出されたのは初めてである。このH2N3ウイルスはマウスとフェレットにも感染性を示した。ブタが、トリ、ブタおよびヒトがキャリアとなるインフルエンザウイルスの「混合容器」である可能性が示された。
15	2008/2/6	78040	生化学工業株式会社	ブタ歯胚組織使用歯周組織再生用材料	エナメルマトリックスデリバティブ	幼若ブタの歯胚	スウェーデン	組成・構造	有	無	無	サルモネラ症	J Antimicrob Chemother 2007; 60: 398-401	メキシコYucatanにおける多剤耐性(MDR)ネズミチフス菌の伝播について調べた。プラスミド介在性blaCMY-2 AmpCβラクタマーゼを含むMDRネズミチフス菌は2000-2001年の0%(0/27)から2004-2005年の75%(63/84)に有意に増加した。MDR blaCMY-2ネズミチフス菌(N=115)は病気の小児(44.3%)および豚肉または豚の腸(36.5%)に最もよく見られた。同菌に感染した小児(n=39)では非MDRサルモネラ菌を有する小児(n=24)より全身感染(13% vs 0%)、死亡(8% vs 0%)および遷延性下痢による再入院(28% vs 17%)の頻度が高かった。メキシコではMDR blaCMY-2ネズミチフス菌が急速に広範囲にわたって伝播しており、緊急の対策が必要である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
16	2008/2/7	78041	東洋紡績株式会社	滅菌済み開心術用チューブ及びカテーテル膜型人工肺補助循環装置	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO/EPR 2007年8月31日	2003年から2007年8月31日までのWHOに報告されたトリインフルエンザA (H5N1)の確定ヒト症例数は、計327例(死亡199例)である。2007年はカンボジアで1例(死亡1例)、中国で3例(死亡2例)、エジプトで20例(死亡5例)、インドネシアで30例(死亡26例)、ラオスで2例(死亡2例)、ナイジェリアで1例(死亡1例)、ベトナムで7例(死亡4例)が報告され、合計症例数は64例(死亡41例)である。
17	2008/2/8	78042	平和物産株式会社	人工心肺用血液回路	ヘパリン	豚小腸	イタリア	組成・構造	無	無	無			
18	2008/2/20	78043	ガンプロ株式会社	ヘパリン使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル	ヘパリンナトリウム	豚腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	鳥インフルエンザ	国立感染症研究所感染症情報センター 高病原性鳥インフルエンザ 2007年12月6日	2007年12月4日付け、WHO更新情報によると、中国保健省はWHOに対し、H5N1鳥インフルエンザの新たなヒト感染症例を報告した。症例は江蘇省の24才の男性で、11月24日に発症し、11月27日に入院し、12月2日に死亡した。中国での確定例は26例で、うち17例が死亡している。
												鳥インフルエンザ	国立感染症研究所感染症情報センター 高病原性鳥インフルエンザ 2007年12月10日	2007年12月9日付け、WHO更新情報によると、中国保健省はWHOに対し、H5N1鳥インフルエンザの新たなヒト感染症例を報告した。江蘇省の52才の男性で、12月2日に同ウイルス感染で死亡した24才男性の父親である。男性は国家当局によって医学的観察下に置かれていた濃厚接触者のうちの一人である。男性は12月3日に発症し、現在入院中である。



ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
19	2008/2/25	78044	ニプロ株式会社	ヘパリン使用体内植込み用カテーテル ヘパリン使用長期的使用注入用植込みポート ヘパリン使用中心静脈用カテーテルイントロデューサキット ヘパリン使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル ヘパリン使用体外式膜型人工肺	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	細菌感染	ProMED-mail20071220.4090	2007年12月18日、連邦保健局は少なくとも2つの州で発生した細菌で汚染されたシリンジに関連した血液感染例を調査中であると発表した。テキサスおよびイリノイ州での感染者は約40名で、死亡は確認されていない。原因を調査したところ、ヘパリンシリンジが汚染されていたためと考えられた。Sierra Pre-Filled社の特定のロットでSerratia marcescensが検出された。該当ロットはコロラド、フロリダ、ペンシルベニアにも出荷されているが、現在のところテキサスとイリノイでのみ感染が発生している。同社は該当ロットを自主的に回収している。
												細菌感染	ProMED-mail20071222.4112	フロリダ保健局はヘパリンシリンジに関連するものと思われる2例を含む血液感染の発生を調査中である。Sierraプレフィルドヘパリンシリンジの特定のロット(Lot No. 070926H)からSerratia marcescensが検出された。当初、感染はイリノイとテキサスでのみ発生したが、フロリダが3番目の州となった。
												感染	ProMED-mail20080118.0226	インジアナ州の豚肉加工場従業員2名がミネソタ州の精肉業者を襲った原因不明の疾患と同じ症状を発症した。インジアナの従業員も、ミネソタの作業員と同様に、ブタの頭から脳を吹き飛ばすために使用する強力な空気圧縮装置の近くに配置されていた。彼らは手足の疲労感、麻痺および疼きといった炎症性神経症状の顕著な特徴を示した。飛散したブタの脳がこの病気の原因となった可能性がある。この工程は現在は使われていない。